

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	KOMORO AGRI SHIFTプロジェクト
事業主体 (連絡先)	小諸市 (小諸市相生町3-3-3 電話0267-22-1700 担当:農林課 原田)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,162,012円 (うち支援金:3,871,000円)

### 事業内容

- (1) 「土壌の健康診断(土壌の生物性分析)」を100検体実施。
- (2) KOMORO AGRI CAFÉに専門家を招聘し、土壌の健康診断結果をもとに土づくりの勉強会を5回開催した。
- (3) レシピ開発として、二十四節気の一汁一菜レシピ。
- (4) イベント出店として、東京都世田谷区二子玉川のマルシェへ3回実施。



【出店状況】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 土壌の健康診断実施者の増加  
目標年度 R1 100検体  
実績 100検体
- ② イベント出店 目標年度 R1 あり  
実績 3回出店
- ③ レシピの頒布 目標年度 R1 あり  
実績 イベント出店時(2月20日、21日)に、レシピを配布(100枚)。
- ④ 小諸基準 目標年度 R1 あり  
実績 策定まで至らず。

### 【目標・ねらい】

- ① 土壌の健康診断実施者の増加。
- ② イベント出店により農産物の良さを直接知ってもらう。
- ③ レシピ開発し、消費者へ伝える。
- ④ 小諸基準の策定

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度の取り組みでは、広い範囲の農家自身が土づくりを学び、生かせるようになって来たと感じます。  
また、元気な土から生まれた農産物を消費者へつなげるため、首都圏でのイベントへ出店し、農産物のPRを行い販路拡大に寄与しました。  
今後は、小諸基準の策定に向け、引き続き農家との意見交換。調整を行います。  
また、ファンづくりとして、バイヤーや料理人等に農産物の良さや農家の仕事状況等を直に伝える畑体験会を開催したい。

### ※自己評価【C】

#### 【理由】

「土壌の健康診断」の実施、専門家の招聘により、広い範囲の農家が土づくりを学び、自分の圃場の健康状況を知り、今後の取り組みに生かせることになった。また、イベント出店により、農産物の魅力を発信できた。しかし、当初計画していた小諸基準の策定には農家との意見交換が不十分と判断し、策定までに至らなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた

「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある